対象者様への情報公開文書

「北海道西胆振地域の幼児う蝕のリスク要因の検討」のご説明

はじめに

幼児う蝕は、間食習慣、口腔内環境などが絡み合って発症する疾患です。幼児う蝕のリスク要因は、砂糖の入っている飲み物及び食べ物の飲食、保護者による仕上げ磨き習慣の他に、最近では受動喫煙、妊娠中の喫煙、離乳食開始時期、経済状況などが言われています。しかし、日本では、これに関する疫学調査が少ないです。

今回、私たちは、北海道西胆振地域の 6 市町（室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町）の 1 歳 6 ヶ月児及び 3 歳児のデータを用いて、幼児う蝕のリスク要因を研究します。北海道の二次医療圏である西胆振地域の幼児う蝕リスク要因を分析することで、北海道における市町村の歯科保健指導等の歯科保健施策に役立てられるれるのではないかと期待しています。

この研究は、札幌医科大学倫理委員会の審査を受けた上で札幌医科大学学長の承認を得て行われております。また、本学研究不正防止プログラムを遵守して行います。

研究参加者となる方

令和 5 年 4 月～令和 8 年 3 月に西胆振地域の 6 市町（室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町）の１歳６ヶ月児及び３歳児歯科健康診査受診者とその保護者です。

研究内容

北海道室蘭保健所が電子データ化している西胆振地域の 6 市町のデータを個人情報がない形で、当講座に提供していただき、そのデータをもとに、統計学的ソフトを用い、幼児う蝕のリスク要因を分析します。

この研究の対象者様への費用負担はありません。本研究は外部資金を使用しませんし、利益相反もありません。

＜解析に用いるデータ＞

性別、月齢、1 歳 6 ヶ月児及び 3 歳児の歯の状況、フッ素塗布回数、家庭で使用しているフッ素製剤、夕食後以降の飲食、間食時間、間食内容、飲み物の内容、保護者の喫煙状況、妊娠中の喫煙、夜間母乳摂取の有無、授乳期間、出生時体重、離乳食開始時期、食具、市民税の課税・非課税、保護者の教育歴、出生時体重です。

研究参加者様の個人情報の管理について

本研究では、個人情報の漏洩を防ぐために、研究参加者様の個人を特定できる情報はない形で北海道室蘭保健所よりデータの提供を受け、札幌医科大学では個人情報を管理しない方針としており、本研究実施過程およびその結果の公表（学会発表や論文など）の際に、研究参加者様を特定できる情報は一切含まれません。

なお、室蘭保健所が市町からデータを収集した時点で個人情報はない形であり、個人情報復元の可能性はありません。

研究参加者様がこの研究にデータを提供したくない場合の処置について

令和5年4月から令和8年3月までの期間に、西胆振地域の6市町で１歳６か月児及び３歳児歯科健康診査を受診した方で、この研究にデータを提供したくない方は下記にお問い合わせください。ただし、札幌医科大学では個人情報を取り扱っておらず、どのデータが申し出て頂いた対象の方のデータかの判断ができないことから、個別にデータを取り除く対応は難しいことをご理解頂けますようお願い致します。

研究参加者様からの相談等への対応

研究参加者様からの求めに応じて、個人情報の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究参加者様は研究計画書、資料を入手及び閲覧ができます。これらについて相談等される場合には下記にご連絡ください。

研究期間　　札幌医科大学学長の承認日から令和１８年３月３１日

研究結果の公表

学会および論文等で公表し、この結果は北海道室蘭保健所に報告します。

データの保管及び廃棄方法

データは、ＵＳＢメモリに保存し、札幌医科大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野の鍵のかかるロッカーに保管し、論文等の公表後、10年間保存し廃棄します。

医学上の貢献

幼児う蝕のリスク要因が詳細に分かることにより、西胆振地域の6市町はう蝕予防のための健康施策が立てやすくなり、歯科医療費の減少につながることが期待されます。

問い合わせ先

〒０６０－８５５６　札幌市中央区南１条西１７丁目
札幌医科大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野
研究責任者　大西浩文
平日　TEL 011-611-2111 内線27400
日曜・祝祭日・夜間　E-mail　pubh@sapmed.ac.jp
または
〒０６０－８５５６　札幌市中央区南１条西１７丁目
札幌医科大学医学部社会医学講座公衆衛生学分野
研究分担者　中山佳美
平日　TEL 011-611-2111 内線27490